



電子取引 Save

株式会社ソフトウェア・パートナー 様

業種	システム開発・販売
拠点	東京都新宿区
製品種別	電子取引Save Standard
運用開始時期	2022年1月
導入目的	改正電子帳簿保存法 電子取引データの保存義務化への対応

導入前の課題

- ・自社開発した売上管理システムで事務書類の管理を行っていたが、電子取引データの保存機能までの開発は困難であった。
- ・売上管理システムを改修せずに電帳法改定対応を行いたい。
- ・電子取引データの入力作業は極力行わないようにしたい。

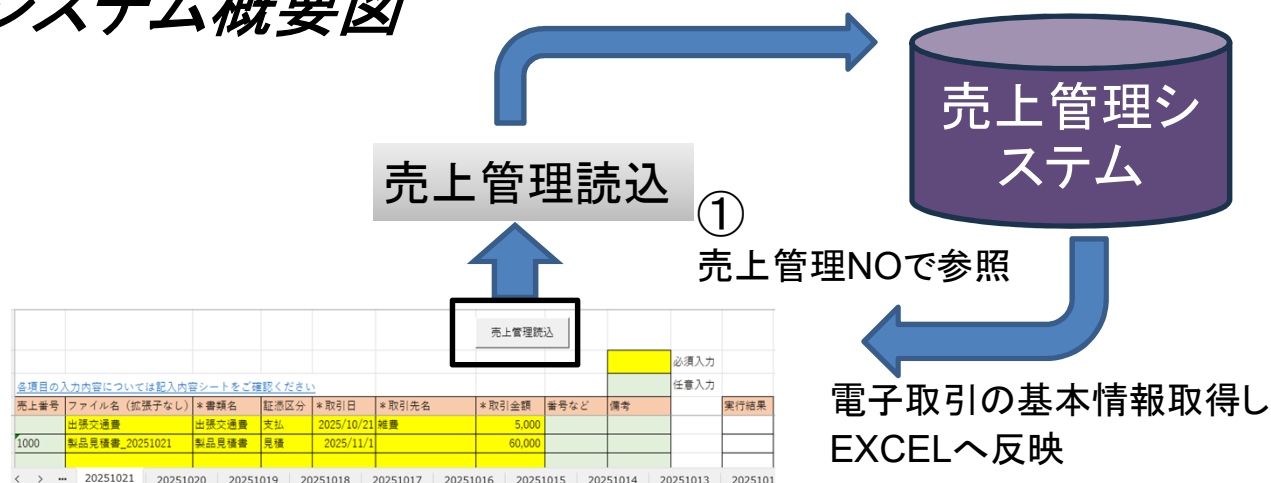
導入の決め手

- ・アンテナハウス社とは30年以上の取引があり、安定した製品を提供しており、サポートも充実しており、安心してソフトを利用できる。
- ・廉価で売り切りソフトにつき、導入・運用コストを抑えることができる。
- ・社内サーバで電子取引Saveが運用できるので、売上管理システムから電子取引Saveへの自動登録するアプリを開発できる。

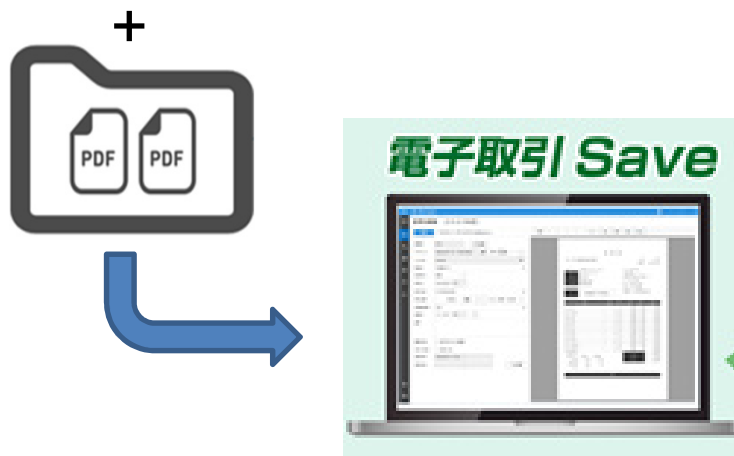
導入の効果

- ・電子取引データを自動登録するアプリを1か月で開発できた。
- ・社員はEXCELに電子取引の基本情報と電子ファイルを格納するだけで自動登録されるので、入力負担はない。
- ・売上管理システムから自動取込できるので、さらなる入力負担の軽減と入力ミスを防止できた。
- ・電子取引Saveの社員への操作指導や、PCへのインストール作業が不要であった。

システム概要図



- ② 基本情報が登録された
EXCELと電子取引ファイルを
自動で電子取引Saveへ登録
* 電子取引Saveのクライアント
アプリケーションをサーバ上
で稼働
* 自動処理にはマイクロソフ
ト社PowerAutomateのRPA
を使用



売上管理読込							
						必須入力	
						任意入力	
*取引日	*取引先名	*取引金額	番号など	備考		実行結果	
2025/10/21	雑費	5,000				登録完了	
2025/11/1		60,000				エラー	
251018	251017	252106	252105	252104	252103	252101	

- ③ EXCELで取り込結果を確認

特記事項

売上管理システム(自社開発)がなくても、電子取引Saveへの自動登録ツールは利用可能。(基本情報を手入力するだけでも登録可能)